KINKI ZEIRISHI SEIJI RENMEI

近畿税政連

第184号

平成23年12月10日

発行所　近畿税理士政治連盟　発行人　南出力利　編集人　後安宏彦
〒540-0012　大阪市中央区谷町１丁目５番４号　電話(06)6944-9040　FAX(06)6944-9050　ＵＲＬ　http://kinzeisei.jp/　　ＭＡＩＬ　info@kinzeisei.jp

「松山や秋より高き天守閣（正岡子規）」松山城　　撮影：武田泰雄（城東支部）

焦点

環太平洋戦略的経済連携協定（ＴＰＰ）参加問題を巡るマスコミ報道は、賛成する輸出製造業と反対する農業との対立の構図に基づいてなされているように感じる。はたして対岸の火事として見物していて良いのだろうか。

ＴＰＰは、関税だけでなく非関税障壁を取り除き、自由貿易を目指す事を目的としている。多くの作業部会があり、我々の業務に関連する部分も含まれている。サービス・労働の分野における、弁護士や公認会計士の各国間相互乗り入れの問題などがそれである。

これは、税理士制度の根幹を揺るがしかねない問題になる可能性がある。海外の公認会計士が日本で業務が出来るようになったら、次に税理士業務の門戸開放を強力に主張してくるだろう。しかも、日本の税理士制度を尊重することなく、彼らの都合をおしつけてくるであろう。こうなると、税理士制度の存在に関わってくる。

国際基準という名のもとに、今まで色々な分野で海外からの要求を受け入れてきた。その結果はどうなったのであろうか。日本における若者のニートや、米国における格差社会の問題である。特に、若年層には深刻である。我が国は独自の文化があり、税理士制度も根付き、それに基づき発展してきた。また最近アジアにおいても税理士制度を採用する国々が増えている。もちろん競争原理は必要であるが、過ぎたるは弊害を生み出しかねない。国家の役割を再考し、全会員がこの問題を至急議論する必要性がある。

主張

税制改正と税理士法改正のゆくえ

近畿税理士政治連盟第45回定期大会が９月９日に開催された。これから１年間の運動活動方針が可決承認され、当連盟は税理士制度の維持発展と公正な租税制度の確立並びに税理士の権益確保のための活動を開始した。

第一は、当連盟は税制改正において日本税理士会連合会が建議する項目が１つでも多く法律として成立されるべく積極的な陳情活動を行う。建議案が法律になるための条件で一番大切な事は、これらの法案が成立したときに世の中にどのような影響を及ぼし、そのプラス面とマイナス面は何かという事を我々はしっかり議論しておくということである。政治の世界では、法案が成立するかどうかは、理論上正しいか否か以上に、この点に判断基準を置いている。そのため、一方的な利益のみを追求する要望事項については、政治家は興味すら示さないことになる。今回の国税通則法の改正事項から納税者権利憲章が削除されたのも、世の中へのプラス面とマイナス面の影響を判断した結果によるものと推察する。

第二には、当連盟は税理士法改正にむけての積極的で具体的な活動を行う。日税連に引き続き設置された「税理士法改正特別委員会」の委員に、８人の日本税理士政治連盟副幹事長全員が委嘱されたことから、いよいよ法案提出に向けての活動が活性化することになる。この改正においても、世の中にどのような影響を及ぼすのか、さらに業際問題にかかわる部分については、相手方に及ぼすプラス面とマイナス面を検討したうえで理論構成がしっかり出来ている事が成案の鍵を握る事となる。今回の改正検討項目は　１．税理士の業務に関する規定　２．税理士の資格取得に関する規定　３．税理士の信頼性の確保に関する規定　４．その他の規定に分かれている。これらの検討項目については今年６月から国税庁と日税連との勉強会が開催され11月17日で６回目を迎えた。平成24年度税制改正大綱に、税理士法改正項目がどのように記載されるのかによって、今後の税理士法改正の方向性が決まってくる。大綱取りまとめが大詰めを迎えるこの１カ月が勝負となる。我々は我々の主張を精一杯述べてきた。そして国会議員等に対する陳情もさらに強化する所存である。しかし税理士法改正にはすべての税理士会会員の絶大な協力と一致団結があってはじめて可能となる。この事を会員各位にはご理解いただき、日常の税政連活動へのご支援を切望する。　（Ｙ・Ｉ）

目次

主張……2
後援会ニュース……3
支部連ニュース……5
近畿税理士政治連盟役員一覧……9

連載

焦点……1
かんさいすすめ……11

後援会ニュース

原田憲治後援会

税理士による原田憲治後援会第４回定期大会が、９月８日、千里阪急ホテルにおいて開催された。来賓として、原田憲治前衆議院議員、近税政より今中英雄副会長、大阪府第３支部連より大西尚史会長、松浪ケンタ後援会から谷丸八郎会長、大塚高司後援会から森田茂稔会長が出

席した。

生田哲也後援会副幹事長の司会により開会し、来賓紹介の後、田中啓允後援会会長が「現在の政治の混迷状態や経済の閉塞状況は、大変厳しいものがある。我々は公正で合理的な租税制度の確立と社会の要請に応える税理士制度の確立を目指し原田憲治後援会を結成したのであり、原田前議員との意見交換を密にしていきたいと考えている。前議員が再度国会の場で活躍するために、後援会の力を結集し、会員の力添えと支援をお願いする」とあいさつを行った。

続いて、議長に杉山孝一後援会副幹事長が選出され、直ちに議案審議に入った。議案については川口純司後援会幹事長から説明があり、第１号から第５号の各議案につき慎重に審議が行われ、原案どおり満場一致で可決承認された。

議事の後、今中近税政副会長から「今の日本において震災からの復興は非常に大事なことであり、財源のかなめとして税の位置づけは、重要課題となっている。税に見識のある原田前議員に、早く国会の壇上に立ってもらうため、後援会会員の尽力を期待する」との来賓祝辞があった。祝電披露の後、小島隆後援会相談役が閉会のあいさつをし、定期大会は終了した。

大会の後、原田前議員による活動状況や政局、外交、経済情勢及び震災被災地の現状等について報告があり、政党に関係なく国会議員が一丸となり日本を運営することの重要性を述べた。次いで、田中後援会会長より「平成24年度税制に関する要望書」が原田前議員に手渡された。続いて、金山熹章副幹事長から謝辞と激励の言葉があった。

大西尚史後援会副会長の開会あいさつに始まる懇親会は、参加者一同歓談し、今中近税政副会長の原田前議員へ熱烈な激励を込めた中締めの後、盛会のうちに散会となった。

（豊能支部　和田秀幸）

中野寛成後援会

税理士による中野寛成後援会の第５回定期総会が８月27日ホテルアイボリーにおいて開催された。来賓として平安弋作近税会副会長、井戸本恭次近税政幹事長、大西尚史近税政大阪府第３支部連会長の出席があった。関谷洋子幹事の

司会により開会し、来賓紹介の後、後藤房二後援会幹事長から後援会会長代理としてあいさつがあり、続いて金田義一後援会副幹事長が議長に選出されて議案の審議に入った。議案は後藤幹事長から説明があり、すべて原案通り賛成多数で可決承認され、後援会の新会長に後藤房二

前幹事長が選任された。中野寛成衆議院議員への要望書説明の後、赤井良男後援会副会長の閉会のあいさつで総会は終了した。

中野議員の到着を待って行われた国政報告会では「後援会の先生方には大変お世話になり御礼申し上げる。経済、税制において激動の時期となっているが、改めて気を引き締めて望んで行きたい。納税環境の整備の一環として、税理士会が教育機関と主体的に取り組まれてきた租税教育を取り上げ、公的な仕組みとして軌道に乗ってきたことを喜んでいる」とあいさつがあり、東日本大震災と原発事故の問題、民主党代表選挙の情勢と国会運営など多岐に亘っての報告があった。報告会の後、後藤会長から中野議員への要望の陳情が行われた。

後藤会長のあいさつで開会した懇親会では平安近税会副会長、大西近税政第３支部連会長から来賓のあいさつ、乾杯のあいさつでは井戸本近税政幹事長から「平成23年度の税制改正大綱には中野議員の尽力によって税理士法改正の建議事項が入った」と報告があった。歓談では中野議員への質疑応答も活発に行われ、稲垣一則後援会副会長の中締あいさつにより盛会の内に閉会した。　　（豊能支部　井関孝之）

西田昌司後援会

「税理士による西田昌司後援会」の平成23年度定期大会が９月２日、ホテルグランヴィア京都において開催された。

西田議員（右）と田島後援会会長

来賓として、西田昌司参議院議員、近畿税理士政治連盟より南出力利会長、近畿税理士政治連盟京都府支部連より奥村和義会長、谷口貢幹事長の出席があった。

中江嘉和幹事長の司会により開会し、田島博昭会長は、あいさつの中で日頃の後援会活動に対する感謝の意を述べるとともに、西田議員の国会における活躍について会員へ報告を行った。

次いで議案審議に入り、田中守会員が議長に選任され、平成22年度事業報告及び決算承認の件、平成23年度事業計画承認の件が上程され、いずれの議案も満場一致で原案どおり可決承認された。

その後、西田議員から国政報告が行われた。西田議員は「東日本大震災に対する対応、また現下の経済情勢に対する対応のいずれもスピード感がなく、政治の責任を痛感している。政治はデフレ状況からの脱却を明確に国民に対して表明すべきであり、現段階では増税を議論する余地はない。東日本大震災復興のための需要を早期に具体化し、企業等事業体による付加価値の発生を促し、雇用の充実を図るべきである。増税については、デフレ脱却の傾向がある程度実現した段階で実行に移すべきである」と政治に向かう姿勢を述べた。国政報告の後には、田島会長から西田議員に「平成24年度税制改正に関する要望」が手渡され、西田議員からは、この要望の実現に向け政治活動を展開していく旨の力強い発言があった。

続いて、南出近税政会長よりあいさつがあり、その中で財務会計士に関する制度改正が論議されていた際、西田議員の発言がこの議論に対していかに影響力を与えたか等、国会における西田議員の政治活動に対する敬意と共に今後の更なる活躍に期待する旨が述べられた。

総会終了後、中江幹事長の司会で懇親会が開会し、奥村京都府支部連会長の乾杯の発声の後、西田議員を囲み、親しく歓談し、盛会裏に終了した。　　（後援会幹事長　中江嘉和）

支部連ニュース

大阪府第２支部連

大阪府第２支部連合会(北、大淀、旭、福島、東成、城東、西淀川、東淀川、門真、枚方）第16回定期大会が９月５日、ホテルモントレラ・スール大阪において開催された。

上田実　前支部連会長

来賓として近税政から、井戸本恭次幹事長が出席した。

旭輝明支部連幹事長が開会を宣し、上田実支部連会長が「就任以来２年が経ち、その間に当支部連管内に後援会のある平野博文衆議院議員が、鳩山政権時に内閣官房長官に就任され、今回の野田政権においては民主党の要職である国会対策委員長に就任されたことは、近税政並びに当支部連として誠に喜ばしい限りである」とあいさつがあった。

次いで、上田支部連会長が議長となり議案審議に入り、平成22年度運動経過報告及び収支決算、平成23年度運動方針及び収支予算がそれぞれ原案通り可決承認された。最後の議案として役員改選の件が上程され、現執行部提出の新役員案も原案通り可決承認された。

議事終了を受けて、来賓として井戸本近税政幹事長から、民主党政権になってからの税制改正プロセスの変化について、次に、公認会計士法改正案に含まれる企業財務会計士創設への対応、最後に、現在進行中の税理士法改正に向けての取り組みと今後の見通しについて詳細な報告があった。

続いて、中山泰秀前衆議院議員による時局講演会と、尾立源幸参議院議員による国政報告会が開催された。

その後、久保田金次郎新支部連会長が新任あいさつを兼ねて懇親会の開会を宣し、中山寿光支部連相談役よる乾杯の後、来賓を交えて和やかに懇談し、橋本光世支部連相談役の中締めのあいさつをもって盛会のうちに閉会となった。

（北支部　川﨑哲之）

大阪府第５支部連

大阪府第５支部連合会(堺、泉大津、岸和田、泉佐野）定期大会が９月２日、ホテルレイクアルスターアルザ泉大津において開催された。

竹内芳彦　新支部連会長

来賓として田達満近税政副幹事長が出席した。

議事に先立ち、呑海英治支部連会長が、税政連の活動報告と今後の支部連活動の課題などを述べた。

続いて議長に岸和田支部の蘆原賢一会員が選出された。議事に入り、第１号議案から第４号議案まで、すべて原案通り満場一致で可決承認された。今年度は役員改選の年となっており、第５号議案が上程され、審議の結果、堺支部の竹内芳彦支部連副会長が支部連会長に選出された。竹内支部連会長は就任のあいさつで大阪府第５支部連の歴史・構成員について説明をし、

今後とも税政連活動にご協力を頂くよう述べた。その後、田近税政副幹事長が南出力利近税政会長のメッセージを代読したほか、税政連本部の今後における税理士法改正・重点運動方針などについて述べた。

定期大会終了後、懇親会が開催され、台風12号の接近という悪天候にもかかわらず、尾立源幸参議院議員、長安たかし衆議院議員、中山太郎前衆議院議員、北側一雄前衆議院議員が出席した。中山前衆議院議員からは国際情勢の変化、とりわけ中東情勢が今後の日本に及ぼす影響について、北側前衆議院議員からは国政報告と与野党の協力等について、尾立参議院議員からは前財務大臣政務官として税制改正を含む財政再建について、長安衆議院議員からは震災復興と景気回復について、それぞれ心強いあいさつがあった。

最後に森敏則支部連副会長のあいさつがあり、盛会のうちに閉会となった。

（岸和田支部　静幸太郎）

兵庫県第１支部連

９月２日、ホテルモントレ神戸において、兵庫県第１支部連合会（神戸、灘、芦屋、兵庫、長田、須磨）第30回定期大会が開催された。

竹中征二郎　支部連会長

来賓として、徳冨勲近税政副会長が出席した。

池田進支部連幹事長の司会により、開会のことばの後、竹中征二朗支部連会長より「今年度の税制改正は時間を要した。我々も中小企業をはじめとした納税者の立場に立った税制改正への取り組みが必要である。支部連においても、活発な税政連活動を行っていく必要がある。皆さんにも積極的に取り組んで頂きたい」とあいさつがあった。

そして、議長に寺崎明会員が選出され、議事に入った。池田幹事長より、平成22年度運動経過報告がなされ、税制改正に関する要望事項とその実現について、税理士法の改正に関する取り組み、会費収納率の向上策への取り組みについての報告があり、第１号議案から第４号議案まで、全て原案通り、可決承認された。そして第５号議案において、任期満了に伴う役員改選の件について承認を受け、竹中支部連会長が留任し、寺内設昭新幹事長が選任された。

議事の後、徳冨近税政副会長より、税制改正、税理士法改正に関する最近の活動状況の報告がなされた後「当支部連においても、新たに税理士による後援会を設立し、税政連活動について会員の理解を深め、低迷している会費収納率の向上へ繋がるように、活発な税政連活動を行って頂きたい」とあいさつがあり、定期大会は無事終了した。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。

（芦屋支部　吉田智代）

兵庫県第３支部連

兵庫県第３支部連合会（尼崎、西宮、伊丹、柏原、豊岡、和田山）第16回定期大会が、９月１日、尼崎市中小企業センターにおいて開催された。

来賓として近税政より徳冨勲副会長、井戸本恭次幹事長が出席した。

松下好式会員の司会により、西浦文彦副会長が開会を宣し、浦濱勇会長より「財政危機が叫ばれているなか、我々は、士業の中でも安定した業種といわれている。そして、自己研鑽をし、社会貢献などにも取組んでいる。税理士制度は、法律によって担保されており、自分たちで、法律を守り発展させてゆかねばならない。税政連

の活動を理解し、協力をお願いしたい」とあいさつがあった。

清水啓友会員が議長に選任され、議案の審議に入った。越智彰幹事長より議案書の詳細な説明があり、第１号議案、第２号議案ともに満場一致で可決承認された。第３号議案は、任期満了に伴う役員改選であり新役員が選任された。

続いて、徳冨近税政副会長から「第３支部連は、鴻池祥肇後援会があるが、他にも議員の後援会を作り、さらに活発化してほしい」とあいさつがあった。続いて、井戸本近税政幹事長から、平成23年度税制改正の現状及び平成24年度税制改正に関する重点要望事項、また税理士法改正の進捗状況及び隣接士業との業際問題などの説明があった。

その後、新役員を代表して、続投となった浦濱会長よりあいさつがあり、家門正幸副会長の閉会のあいさつをもって大会は終了した。

引き続き、国政報告会が行われ、鴻池祥肇参議院議員菊川義浩秘書より「国会議員とは、国家、国民のために働くこと、自分の発言には責任をもち、法案を通していくことである。そして、こんな国にしたいという思いを国民に示し、実現させていくことである。引き続き支援をお願いしたい」とあいさつがあった。

大会終了後、懇親会が華やかに開催され盛会裏のうちに閉会した。

（西宮支部　森本幸子）

兵庫県第４支部連

兵庫県第４支部連合会（姫路、竜野、相生）第30回定期大会が、８月31日、姫路商工会議所において開催された。

来賓として近税政より井戸本恭次幹事長が出席した。

西村靖彦　新支部連会長

司会の石田陽崇幹事長の開会宣言のあと、藤岡保会長が「国会議員の後援会活動を積極的に行うことにより、議員との接触の場が増え、ひいては税理士制度の発展につながっていく。各位のますますのご協力をお願いする」とあいさつした。

続いて、大会議長として山下和重会員が就き、全議案が原案どおり可決承認された。その中で任期満了に伴う役員改選の件において、西村靖彦姫路支部長が支部連会長として選出され、今後に向けての抱負を述べた。

その後、井戸本近税政幹事長が、幅広い後援会活動が必要であること、公認会計士協会との職域上の問題点、特に税理士法改正にむけて、国税庁が相当熱心に検討に入ってること、また今後の日税政の取り組みについて話をした。

引き続いて、南出力利近税政会長のメッセージを石田幹事長が代読した。

最後に三木政司副会長より閉会のあいさつがあり、盛会のうちに閉会となった。

（姫路支部　一井正彦）

和歌山県支部連

和歌山県支部連合会平成22年度定期大会が、9月6日和歌山県税理士会館で開催された。

来賓として、井戸本恭次近税政幹事長が出席した。

定期大会、出席者

司会の鵜島幸夫会員が開会を宣した後、後安宏彦支部連会長が、税理士会と税政連の役割の違いを説明したうえで、今後税政連の役割がますます重要になるとのあいさつを行った。

額田幸至会員が議長に選出され議案審議に入り第1号議案から5号議案まで可決承認された。後安会長、刀祢真大幹事長、大西啓介財務委員長が再任された。

続いて、井戸本近税政幹事長より平成23年度税制改正についての最近の政治状況と、税理士法改正にむけての日税政、近税政の対応等をふまえたあいさつがあった。

終了後、アバローム紀の国に場所を移して懇親会を開催した。二階俊博衆議院議員、岸本周平衆議院議員、世耕弘成参議院議員、鶴保庸介参議院議員いずれも秘書の方々が、来賓として出席した。終始和やかに歓談し、盛会裏に終了した。　　（和歌山支部　後安宏彦）

滋賀県支部連

滋賀県支部連合会の定期大会が、9月2日、大津市の滋賀ビルにおいて開催された。

来賓として戸次威左武近税政相談役、久保直己同副会長、井戸本恭次同幹事長、及び三日月大造衆議院議員秘書が出席した。

開会宣言の後、鈴木康夫支部連会長より「我々の得意先である中小零細企業は本当に苦しんでいる。税政連として、今後は中小企業対策を要望の前面に出していく必要がある。昨年12月、三日月大造後援会が設立された。議員には私達の要望を汲んで国政に反映していただくことを期待している。また会費の収納率強化に対して、支部長はじめ各役員の皆さんの努力には心よりお礼申し上げる」とあいさつがあった。

鈴木康夫　前支部連会長

続いて、議長に連清治会員が選出され、議事に入った。堀井孝一郎幹事長より議案書の詳細な説明があり、1号議案から4号議案のすべてについて満場一致で可決承認された。

第5号議案は任期満了となった役員改選が上程された。選考委員会協議の結果、会長の戸次威左武をはじめ、総勢33名の役員が推薦され、全会一致で承認された。

議事終了後、南出力利近税政会長メッセージ代読に続き、来賓を代表して井戸本近税政幹事長から祝辞が述べられた。

続いて、戸次新会長の就任あいさつがあり、鈴木前会長の4年間の功労に対する謝辞とともに「皆様の指導を受け2年の任期を務めていきたい」と抱負を述べた。

続いて、三日月大造後援会の堀井会長のあいさつを経て、本庄善男副会長の閉会の辞をもって、無事定期大会は終了した。

（大津支部　畳谷晴男）

近畿税理士政治連盟役員　一覧

本部役員

役　職	氏　名		
名誉会長	宮田義見（茨木）		
顧　問	池田隼啓（生野）		
相談役	弓岡隆巳（東）	北野博也（東大阪）	宮口定雄（大淀）
	岡田泰介（和歌山）	柏木勝志（芦屋）	赤堀精一（東淀川）
	大髙友紀（宇治）	久保直己（大津）	杉上七三夫（大淀）
	辻　孝次（豊能）		
会　長	南出力利（上京）		
副会長	河田秀雄（城東）	細谷陸雄（堺）	雪松　弘（東大阪）
	徳冨　勲（明石）	川本冨美雄（東）	大村惠美子（奈良）
	今中英雄（茨木）	平安弌作（豊能）	田中勇治（明石）
	辻井賢博（葛城）		
総務会長	原　綱宗（下京）		
総務副会長	速水愼一郎（和歌山）	橋本光世（枚方）	
総　務	杉田宗久（西）	松本圭一（北）	北村善和（下京）
	伊田憲司（伊丹）	呑海英治（泉佐野）	芦田和典（北）
	吉田紀夫（北）	永橋利志（岸和田）	石原健次（天王寺）
	平野隆照（東淀川）	平山直樹（吹田）	川口昌紀（和歌山）
	蘆原賢一（岸和田）	池田茂雄（堺）	新田博之（旭）
	村中平治（左京）	前田俊明（姫路）	河合正美（明石）
	鮎川純利（東住吉）	平松正幸（枚方）	上田　実（旭）
	奥田文彦（尼崎）	若林日出紀（南）	久保田金次郎（門真）
	大西尚史（豊能）	石津良行（東大阪）	竹内芳彦（堺）
	奥村和義（上京）	竹中征二朗（神戸）	北村光子（明石）
	浦濱　勇（西宮）	西村靖彦（姫路）	山本眞市（葛城）
	後安宏彦（和歌山）	戸次威左武（今津）	
幹事長	井戸本恭次（天王寺）		
副幹事長	田　達満（住吉）	笹岡憲一（下京）	宮本信一（尼崎）
	前川武政（大淀）	竹下　寛（枚方）	後安宏彦（和歌山）
	桑野秀朗（東住吉）		
幹　事	旭　輝明（旭）	小寺隆弘（城東）	井筒　潮（東大阪）
	室谷澄男（上京）	光永きみ子（芦屋）	青木幸子（奈良）
	河嶋　達（東）	脇阪説男（天王寺）	道廣友厚（枚方）
	杉本和裕（南）	原田　徹（東成）	岩田守生（奈良）
	山川典男（阿倍野）	天野香鶴子（旭）	大森布実子（枚方）
	小川由美子（生野）	矢田善久（上京）	吉田和之（右京）
	森本幸子（西宮）	黒田有紀（奈良）	福長俊之（東淀川）
	竹内芳彦（堺）	髙岡　稔（東大阪）	堀　浩司（南）
	菅原正治（門真）	光成　創（豊能）	大谷勝明（堺）
	谷口　貢（伏見）	寺内設昭（芦屋）	藤本　晃（明石）
	越智　彰（西宮）	北岡　昭（姫路）	武野勝文（奈良）
	刀祢真大（和歌山）	織戸英信（大津）	
会計監事	木下雅裕（南）	寺坂雄次（和歌山）	澤田千博（姫路）

本部推薦審査会構成員

役　職	氏　名	
会　長	南出力利（上京）	
委　員	河田秀雄（城東）	細谷陸雄（堺）
	雪松　弘（東大阪）	徳冨　勲（明石）
	川本冨美雄（東）	大村惠美子（奈良）
	今中英雄（茨木）	平安弌作（豊能）
	田中勇治（明石）	辻井賢博（葛城）
	原　綱宗（下京）	速水愼一郎（和歌山）
	橋本光世（枚方）	井戸本恭次（天王寺）
	田　達満（住吉）	笹岡憲一（下京）
	宮本信一（尼崎）	前川武政（大淀）
	竹下　寛（枚方）	後安宏彦（和歌山）
	桑野秀朗（東住吉）	若林日出紀（南）
	久保田金次郎（門真）	大西尚史（豊能）
	石津良行（東大阪）	竹内芳彦（堺）
	奥村和義（上京）	竹中征二朗（神戸）
	北村光子（明石）	浦濱　勇（西宮）
	西村靖彦（姫路）	山本眞市（葛城）
	戸次威左武（今津）	

支部連会長・幹事長

支部連名	支部連会長	支部連幹事長
大阪府第1	若林日出紀（南）	堀　浩司（南）
大阪府第2	久保田金次郎（門真）	菅原正治（門真）
大阪府第3	大西尚史（豊能）	光成　創（豊能）
大阪府第4	石津良行（東大阪）	髙岡　稔（東大阪）
大阪府第5	竹内芳彦（堺）	大谷勝明（堺）
京都府	奥村和義（上京）	谷口　貢（伏見）
兵庫県第1	竹中征二朗（神戸）	寺内設昭（芦屋）
兵庫県第2	北村光子（明石）	藤本　晃（明石）
兵庫県第3	浦濱　勇（西宮）	越智　彰（西宮）
兵庫県第4	西村靖彦（姫路）	北岡　昭（姫路）
奈良県	山本眞市（葛城）	武野勝文（奈良）
和歌山県	後安宏彦（和歌山）	刀祢真大（和歌山）
滋賀県	戸次威左武（今津）	織戸英信（大津）

大阪府連合会構成員

役　職	氏　名	役　職	氏　名
会　長	河田秀雄（城東）	幹事長	堀　浩司（南）
副会長	若林日出紀（南）	構成員	菅原正治（門真）
	久保田金次郎（門真）		光成　創（豊能）
	大西尚史（豊能）		髙岡　稔（東大阪）
	石津良行（東大阪）		大谷勝明（堺）
	竹内芳彦（堺）		

兵庫県連合会構成員

役　職	氏　名	役　職	氏　名
会　長	徳冨　勲（明石）	幹事長	寺内設昭（芦屋）
副会長	竹中征二朗（神戸）	構成員	藤本　晃（明石）
	北村光子（明石）		越智　彰（西宮）
	浦濱　勇（西宮）		北岡　昭（姫路）
	西村靖彦（姫路）		

本部７委員会構成員

	政策委員会	財務委員会	組織委員会	国対委員会	選対委員会	広報委員会	後援会対策委員会
担当副会長	河田　秀雄（城東）	細谷　陸雄（堺）	雪松　弘(東大阪)	徳冨　勲（明石）	川本冨美雄（東）	大村惠美子（奈良）	今中　英雄（茨木）
委員長	田　達満（住吉）	笹岡　憲一（下京）	宮本　信一（尼崎）	前川　武政（大淀）	竹下　寛（枚方）	後安　宏彦(和歌山)	桑野　秀朗(東住吉)
副委員長	旭　輝明（旭） 小寺　隆弘（城東） 井筒　潮(東大阪)	室谷　澄男（上京） 光永きみ子（芦屋） 青木　幸子（奈良）	河嶋　達（東） 脇阪　説男(天王寺) 道廣　友厚（枚方）	杉本　和裕（南） 原田　徹（東成） 岩田　守生（奈良）	山川　典男(阿倍野) 天野香鶴子（旭） 大森布実子（枚方）	小川由美子（生野） 矢田　善久（上京） 吉田　和之（右京） 森本　幸子（西宮） 黒田　有紀（奈良）	福長　俊之(東淀川) 髙岡　稔(東大阪) 竹内　芳彦（堺）
委員							
大阪府第１	太田　耕司（西成）	下間　茂（浪速）	坂口　明久(天王寺)	辻子　隆裕（港）	相間　靖三（東）	堀　浩司（南）	鳥家　誠（西）
大阪府第２	尾﨑　浩文（城東）	木村　典嗣（枚方）	木原　義和（北）	西本　現人（東成）	林　善行(東淀川)	大志万泰範（門真） 武田　泰雄（城東）	野々村和芳（大淀）
大阪府第３	服部　好伸（茨木）	守部　浩二（豊能）	森田　茂稔（豊能）	金子　薫（吹田）	古屋　秀典（茨木）	田中　順也（豊能） 石井　碧八（吹田） 中西　勝也（茨木）	玉井　敬浩（吹田）
大阪府第４	大久保公裕（八尾）	濱田　明久(東大阪)	濵　龍也(富田林)	喜多　清和（八尾）	北野　益士(富田林)	政本　彰人(東大阪)	金田　光世(東大阪)
大阪府第５	東　俊夫（堺）	上野　隆司(岸和田)	柴田　正吉（堺）	高岩　弘至（泉大津）	吉田　英明(岸和田)	石谷　秀志(泉大津)	谷口昇一郎(泉佐野)
京都府	松本　安弘（上京）	谷口　康夫（右京）	田畑　臣雄（左京）	澤田　眞司（東山）	萩原　政宏（伏見）	久乗　一姫（下京） 藤原　俊文（東山）	山内　利明（宇治）
兵庫県第１	南木　二郎（芦屋）	寺崎　明（神戸）	大原　利弘（神戸）	佐藤　信夫（長田）	竹内　好次（須磨）	吉田　智代（芦屋）	馬田　宣昭（兵庫）
兵庫県第２	井上　健二（社）	有村　昌紀(加古川)	篠原　幹人（洲本）	竹本　博文（西脇）	藤本　秀樹（三木）	川淵　佳子（明石）	中西　修二（明石）
兵庫県第３	阪上　恭一（西宮）	冨岡　秀樹（伊丹）	林　文彦（伊丹）	竹内　綱敏（尼崎）	藤田　健吉（豊岡）		山陰　雅史（尼崎）
兵庫県第４	春名　毅（姫路）	藤原　美奈（姫路）	黒田　譲（姫路）	花房　賢司（相生）	久野　喜作（竜野）	上野　政則（姫路）	粟田　秀昭（姫路）
奈良県	景山　良一（奈良）	図司　節生（奈良）	今崎　善彦（奈良）	出川　洋（葛城）	杉垣　輝樹（葛城）	吉田　廣彰（葛城）	髙田　雅信（桜井）
和歌山県	森村　透（粉河）	大西　啓介(和歌山)	鵜島　幸夫(和歌山)	中北　茂寛（和歌山）	坂本　忠進(和歌山)	小西　里枝(和歌山)	堀　博充(和歌山)
滋賀県	平塚　誠（彦根）	畠山　譲治（大津）	藤居　一彦（長浜）	川南　正行(近江八幡)	南井　哲（草津）	竹中　弘（草津）	小澤　康宏（草津）

支部長・支部幹事長

	支部	支部長	支部幹事長
大阪府第１	東	梅崎道夫	相間靖三
	南	若林日出紀	堀　浩司
	西	河南政明	鳥家　誠
	港	岡　訓範	辻子隆裕
	天王寺	脇阪説男	坂口明久
	浪速	檜垣典仁	下間　茂
	生野	畑　俊雄	池﨑琢磨
	阿倍野	山脇　守	山川典男
	東住吉	笹野博文	牧田利德
	住吉	栃本彌四郎	森本勝志
	西成	小倉文彦	太田耕司
大阪府第２	北	松本邦雄	木原義和
	大淀	池辺　健	前川武政
	旭	上田　実	旭　輝明
	福島	小泉丹二	中村忠司
	東成	小市哲男	原田　徹
	城東	河田秀雄	中尾一仁
	西淀川	青木義弘	仲田むつみ
	東淀川	森下政彦	林　善行
	枚方	中川良比古	竹下　寛
	門真	久保田金次郎	菅原正治
大阪府第３	吹田	上西通氏	金子　薫
	豊能	大西尚史	安積重和
	茨木	仲　猛夫	古屋秀典

	支部	支部長	支部幹事長
大阪府第４	東大阪	弓手宏亮	髙岡　稔
	富田林	北井末廣	正木隆行
	八尾	竹綱敏真	大久保公裕
大阪府第５	堺	森　敏則	大谷勝明
	泉大津	原　正人	高岩弘至
	岸和田	木戸伸男	寺井秀次
	泉佐野	田中　洋	谷口昇一郎
京都府	上京	奥村和義	松本安弘
	中京	河原林温朗	坂部　浩
	下京	志田育夫	木村敏之
	左京	鈴木正史	田畑臣雄
	東山	平田雅也	澤田眞司
	伏見	谷口　貢	萩原政宏
	右京	中江嘉和	谷口康夫
	園部	小森良信	吉田史樹
	福知山	衣川憲治	塩見　満
	舞鶴	片又　昇	山田忠雄
	宮津	川瀬　明	髙岡政義
	峰山	藤原邦夫	廣谷倫成
	宇治	田村繁和	山内利明

	支部	支部長	支部幹事長
兵庫県第１	神戸	安原武志	衣笠浩司
	灘	中村　實	赤井義宏
	芦屋	光永きみ子	蝉川寛嗣
	兵庫	室之園康雄	小林　明
	長田	光齋信治	高井秀樹
	須磨	吉川嘉彦	三木裕人
兵庫県第２	明石	市原幸惠	藤田晃三
	三木	照屋さつ子	二杉智幸
	西脇	上山泰弘	遠藤康夫
	社	森　信博	下山博司
	洲本	篠原幹人	森﨑文雄
	加古川	三村浩之	西本善明
兵庫県第３	柏原	松岡四郎	早淵憲男
	豊岡	竹田　修	藤田健吉
	和田山	人見孝文	石井　新
	伊丹	家門正幸	細川健二
	西宮	浦濱　勇	越智　彰
	尼崎	西浦文彦	山陰雅史
兵庫県第４	姫路	西村靖彦	石田陽崇
	竜野	三木政司	久野喜作
	相生	廣島圭吾	横山純一

	支部	支部長	支部幹事長
奈良県	奈良	景山良一	図司節生
	桜井	西﨑俊丈	杉本幸弘
	葛城	久保正義	杉垣輝樹
	吉野	里田　好	澤井修三
和歌山県	和歌山	齋藤恒明	森脇敏夫
	海南	中尾　彰	井上雅貴
	粉河	森下悦男	森村　透
	湯浅	宮井健年	成田誠治
	御坊	田渕　稔	片山孝之
	田辺	山西輝明	光吉直也
	新宮	中谷克彦	中井邦次
滋賀県	大津	伊藤孝夫	小畑雅裕
	今津	地村秀磨	河原田新市
	彦根	西堀勝美	平塚　誠
	長浜	本城慶三	箕浦康之
	草津	竹中　弘	中川徳親
	近江八幡	川南正行	堀　真澄
	水口	山本善通	永野隆幸

かわいい？恐ろしい！神戸のうり坊

神戸の街に出没するイノシシ。六甲山系のハイカーがイノシシに襲われたとの報道が最近多いようです。私の住む神戸市東灘区の天井川ではイノシシ親子をよく見かけます。ここは六甲山系から大阪湾へ南北に流れる川で、山手の阪急岡本駅付近の川沿いに人が集まっている時はイノシシ親子が出没していることがしばしば。慣れると「また居る」と思いますが、写真撮影をしている人もいます。道路から川までは距離があり襲われる危険性はなく、子供のうり坊は小さく縞模様も見えてかわいい、大きい親イノシシは大きくて怖いという印象です。

イノシシが出没する場所は年々南下し、最近は河口付近で見られるようになりました。イノシシは水の少ない川底を約２キロも歩いて、小さなカニを食べに来ているとの事。はるばるこんな所にまでと、浜手に住む私は驚きました。このようなイノシシの出没は、30年以上前から、餌付けにより人慣れした事が原因と言われています。近年は異常気象の影響で山中の餌が減ったとも聞きます。

またこのうり坊が神戸の街を散歩する姿をデザインした「神戸うりぼー」という洋菓子が販売されています。緑色のピスタチオあんの焼菓子は甘くしっとりして美味しく、お土産としても喜ばれます。ウリ坊も可愛い神戸のキャラクターとして、各地を訪れるのでしょう。

最後に神戸市では「イノシシ条例」を2002年に施行し、これらの問題に取り組んでいます。市や区のホームページには、防犯・防災に並んで「イノシシ」が紹介されています。自然との共存。難しい課題ですが、我々にできることは何かを探って行かなければなりません。

（芦屋支部　吉田智代）

近税政本部のうごき

第２回正副幹事長会（10月19日）
- 本部７委員会委員長、副委員長、委員の委嘱について
- 委員会担当副会長の委嘱について
- 推薦審査委員の委嘱について
- 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- その他

第２回幹事会（10月19日）
- 本部７委員会委員長、副委員長、委員の委嘱について
- 委員会担当副会長の委嘱について
- 推薦審査委員の委嘱について
- 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- その他

第３回総務会（10月19日）
- 本部７委員会委員長、副委員長、委員の委嘱について
- 委員会担当副会長の委嘱について
- 推薦審査委員の委嘱について
- 大阪府連合会、兵庫県連合会会長および同府県連役員の委嘱について
- 名誉会長、顧問、相談役の委嘱について
- その他

第３回広報委員会（11月７日）
- 平成23年度運動方針及び委員会活動方針について
- 機関紙「近畿税政連」の編集方針について
- 機関紙第183号（10月号）の批評
- 機関紙第184号（12月号）の編集に関する件
- 機関紙第185号の編集企画に関する件
- その他

銀河系

今回は新しい広報委員会による初めての機関誌発行となりました。女性陣が多くなり、なんだか会議が華やかになった感じがします。この華やかさが機関誌を通して会員の皆様にお伝え出来ると良いなと思います。2011年も残すところ後わずかとなりました。一年を振り返り大きな出来事と言えば、やはり東北地方太平洋沖地震でしょうか。多くの犠牲者を出し、いまだに数多くの行方不明者がいる事を思うと大変心が痛みます。被災された方は本当に苦労の多い年だったと思います。どうか新しい年は笑顔の多い年になるようにと心から願うばかりです。

（小川由美子）